

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成26年～平成30年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(なか・かいふ) 那賀・海部計画区 (徳島県)	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当事業区は、徳島県南部に位置する那賀・海部森林計画区の国有林4,457haを対象としている。</p> <p>当計画区は、北は剣山、雲早山に連なる諸山から、西是那賀川の源流部、東及び南は沿岸部までの徳島県南部に位置し、区域面積は149,925haで森林はその86%の128,233haとなっている。年平均気温は14.5℃で、平均年間降水量は2,500mmと、比較的温暖で林木の生育に適した気候下であり、スギ、ヒノキを中心とした植栽が行われ、人工林率は70%となっている。</p> <p>国有林野は、那賀川及びその支流の坂州木頭川の流域と海部川上流の高海拔地域に分布している。人工林率は35%で、スギが54%であり、また、6齢級から12齢級が96%を占めており、この齢級を中心とした森林整備を進める必要がある。天然林は、剣山、高城山周辺に多く分布している。当該国有林野は、全てが林野整備臨時措置法及び保安林整備臨時措置法により買入れた林地であり、99%が水源かん養保安林をはじめとする保安林に指定されている。</p> <p>このような本計画区の状況を踏まえるとともに、森林に対する国民の要請が、国土の保全や水源のかん養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の面で期待が高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化していること、特に地球温暖化の防止、生物多様性の保全については国有林への期待が大きいことを踏まえ、本事業においては、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進や、このための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 更新面積 14ha ・ 保育面積 299ha 主な保全対象 開設延長 2.0km ・ 改良延長 0.7km 総事業費 299,835千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	1,060,899千円	
	総費用(C)	296,554千円	
	分析結果(B/C)	3.58	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。</p>		
評価結果	・ 必要性	地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。	
	・ 有効性	国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。	
	・ 効率性	費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。	
		<p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>	

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名 森林環境保全森林整備

都道府県名: 徳島

施行箇所 那賀・海部森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	143,136	
	流域貯水便益	78,174	
	水質浄化便益	189,342	
山地保全便益	土砂流出防止便益	160,861	
環境保全便益	炭素固定便益	51,757	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	17,856	
	木材生産確保・増進便益	63,749	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	6,148	
	森林整備促進便益	349,876	
総 便 益 (B)		1,060,899	
総 費 用 (C)		296,554	
費用便益比	$B \div C = \frac{1,060,899}{296,554} = 3.58$		

平成25年度 森林環境保全整備事業 那賀・海部川計画区(徳島県) 位置図

